WASAPIの設定方法について

Ver.1.00

KS-1HQM　設定マニュアル⑥

本設定マニュアルでは、foobar2000 を使って HQM コンテンツを 96kHz／24bit で再生するための Kernel Streaming の設定方法を説明します。本設定は HQM コンテンツを 96kHz／24bit で再生するために必ず必要な設定ではありません。PC 環境（機種・OS）や設定内容によっては HQM コンテンツを 96kHz／24bit で再生しない場合があるため、そのような場合に本設定を行うと効果があります。

設定概要：

foobar2000 に WASAPI のコンポーネントを追加します。foo_out_wasapi.dll ファイルをインターネットからダウンロードし、この DLL ファイルを foobar2000 プログラムのコンポーネントフォルダに保存します。

WASAPI について：

WASAPI は Windows 標準の Audio Engine をバイパスすることができる Windows の API で、foobar2000 に機能の追加ができるコンポーネント（アドオン機能）によって WASAPI の音声出力が可能になります。WASAPI を使うことで、foobar2000 から出力されたデジタル信号は Audio Engine を経由することなく、直接 KS-1HQM のオーディオデバイスに送り込むことができます。Windows に起因する音質の劣化等があった場合、WASAPI の機能を使用することでそれを回避することができます。

［お願い］

foobar2000 は弊社の製品ではございません。HQM コンテンツを再生するための、数種類以上ある PC 用音楽再生プレイヤの選択肢の一つとして紹介しています。

大変お手数ですが、foobar2000 についての詳細をお知りになりたい場合は、

foobar2000: Support and community (http://www.foobar2000.org/support)

等を参照し、お客様ご自身でお調べいただきますようお願いします。

海外製の foobar2000 の他にも、FLAC 形式の音楽ファイルに対応している音楽再生プレイヤとして、国産の Lilith(http://www.project9k.jp/)等があります。

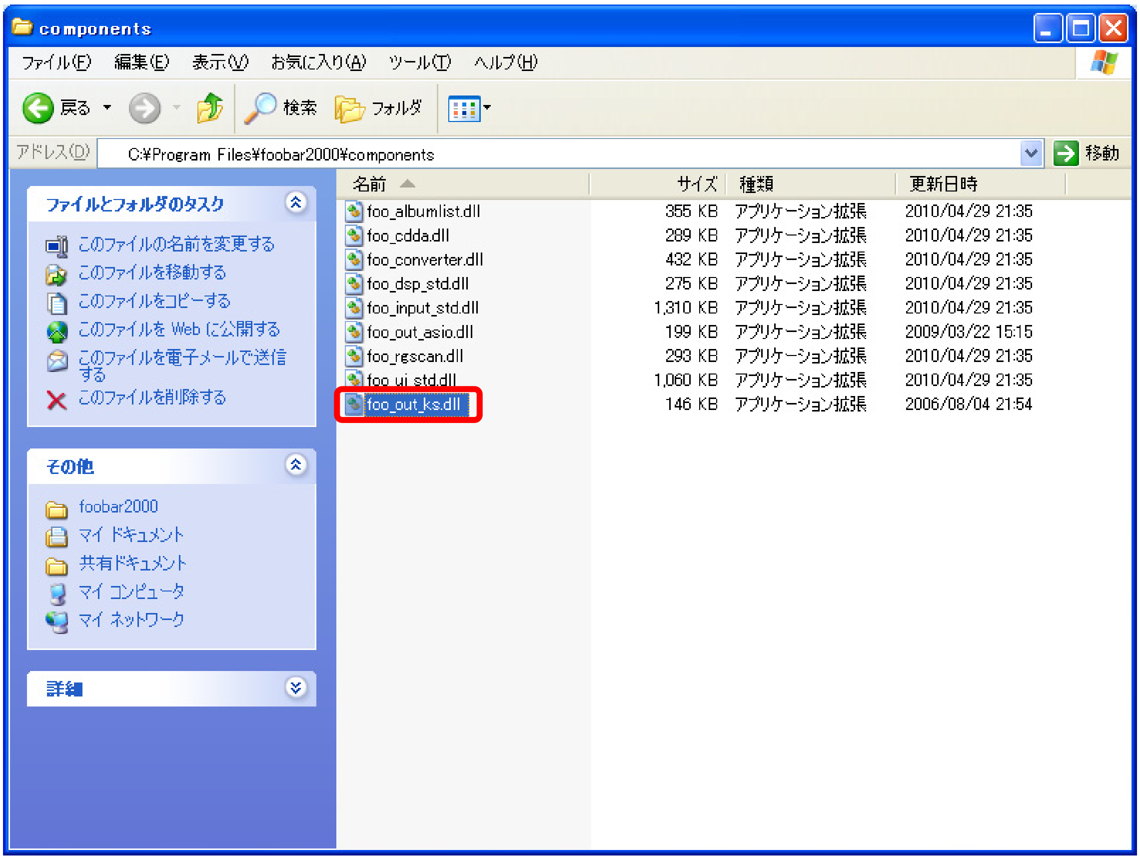
1.　下記のＷＥＢサイトから Kernel Streaming に必要な foobar2000 用コンポーネントファイルをダウンロードします。

[ﾀｲﾄﾙ] foobar2000: Components Repository - WASAPI output support

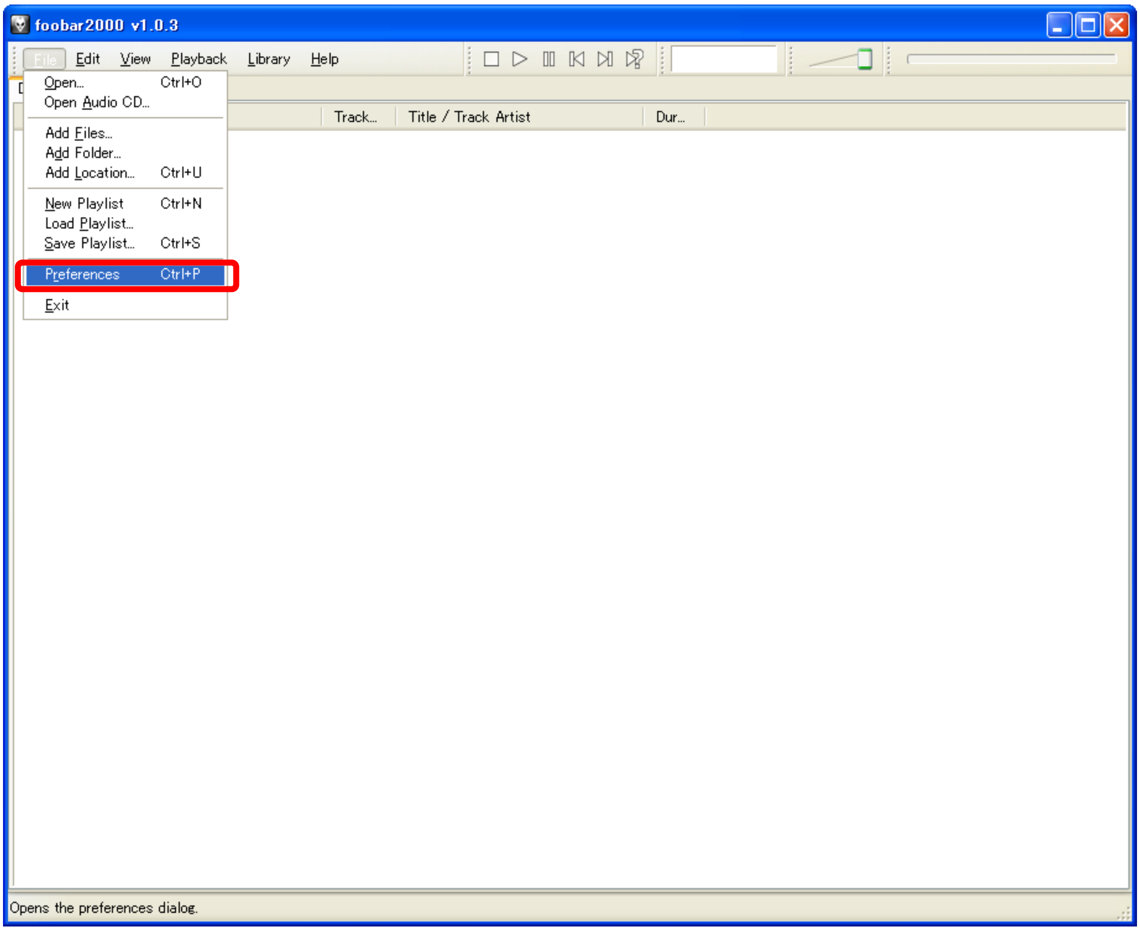
[URL] http://www.foobar2000.org/components/view/foo_out_wasapi



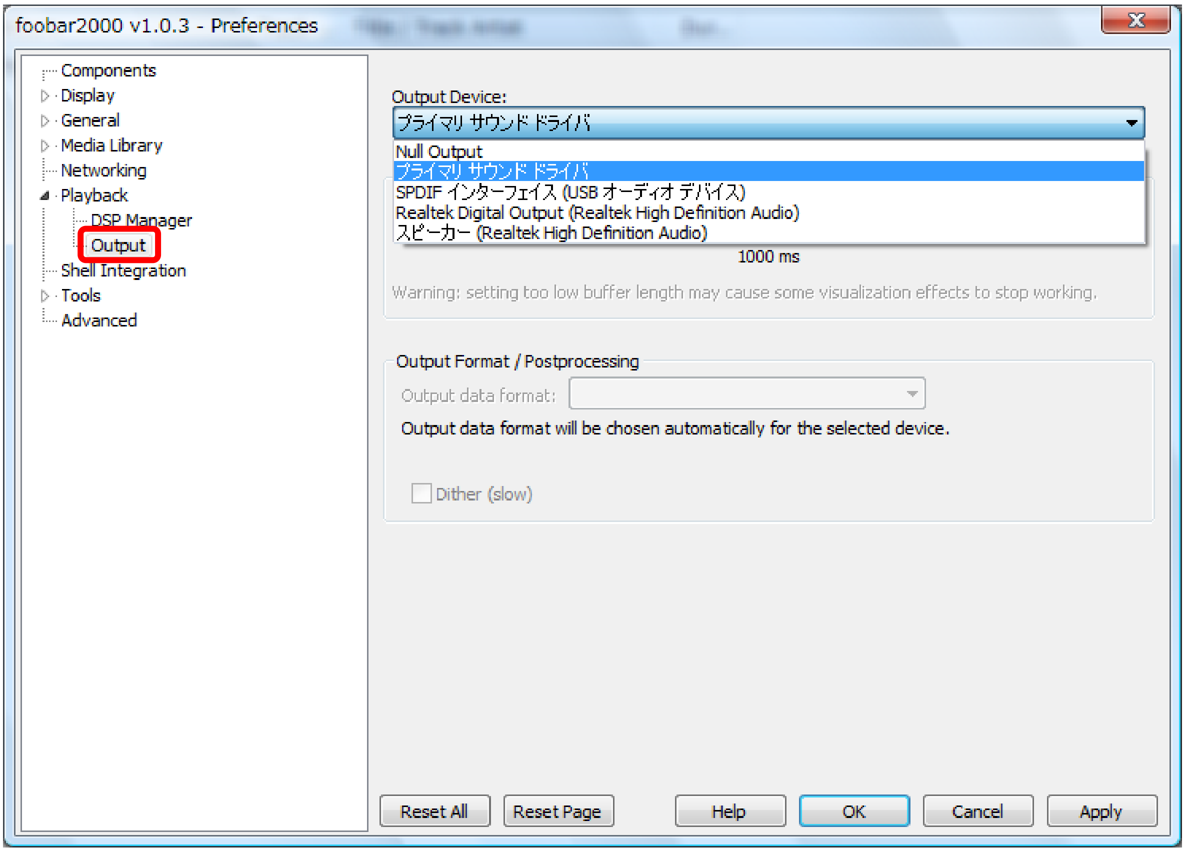
2.　保存した zip ファイルを解凍し " C:¥Program Files¥foobar2000￥Components " フォルダに保存します。



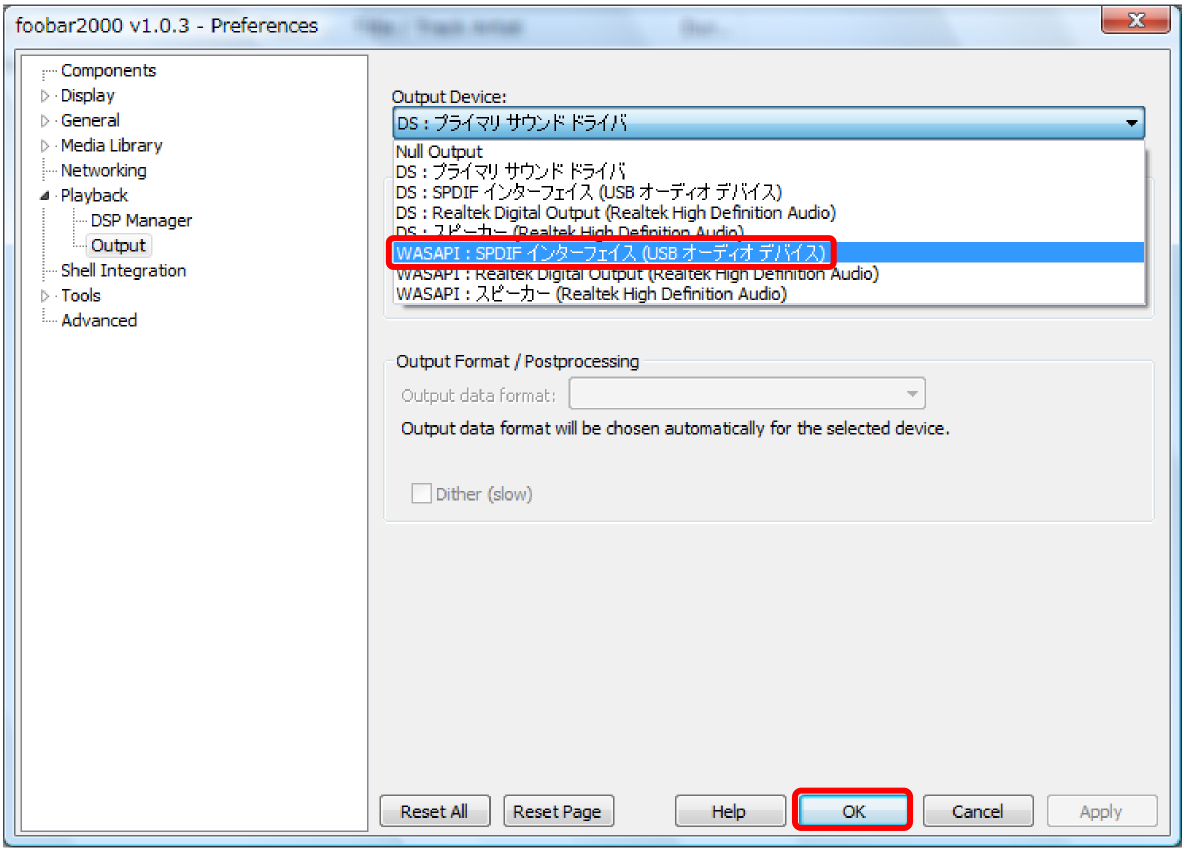
foobar2000 を起動し、［File/ Preferences］を選択します。



3. Preferences（左メニュ）の Components の Playback 配下の " Output " を開きます。



4.　＂Output Device:＂の［WASAPI:SPDIF インターフェイス（USB オーディオデバイス）］を選択し、［OK］を押して設定完了します。



Windows の排他モードについて

前項までの foobar2000 側の WASAPI の設定に加えて、Windows 側の設定で SPDIF インターフェイス（KS-1HQM のオーディオデバイス）のプロパティの［詳細］タブで、“排他モード”にチェックを入れることで、より確実に WASAPI の音声出力が得られます。

※foobar2000 が排他モードで動作している場合は、Windows の警告音等の他の音が鳴らなくなりますのでご注意ください。また、音楽再生プレイヤによっては排他モードに対応していないものもあります。

